

公明党は 女性の命を 守ります！



3月1日～8日は
「女性の健康週間」です！

子宮頸がんは
検診と予防ワクチンで
ほぼ100%予防できます

20～30歳代の若い女性に増えている子宮頸がん

「子宮頸がん」は、本人の自覚症状がないために発見が遅れ、国内では年間15,000人以上が発症し、3,500人にのぼる大切な命が失われています。毎日、10人の女性が亡くなっていることとなります。

主な原因はHPVというウイルス

HPV(ヒトパピローマウイルス)に感染してから約10年かけて、がん細胞に変化する場合があります。子宮頸がんは、予防できる唯一のがんです。定期的に検診を受けていけば、がんになる前に発見でき、早期の治療で治すことができます。

公明党が予防ワクチン承認を推進！

すでに100カ国以上で予防ワクチンが承認されていますが、日本では公明党の強力な推進により、ようやく予防ワクチンが平成21年10月承認され、主な医療機関でワクチン接種が受けられるようになりました。

高額なワクチン接種費用のため公費助成を

予防のためには、半年のうちに3回の接種が必要で、ワクチンそのものの価格に診察費を加えて、費用が4～6万円と高額です。オーストラリアなど約30カ国では、ワクチン接種費用に公費助成がなされています。日本においても、より多くの人々が接種を受けられるよう公費助成が必要です。

✿ 受診率アップのため 無料検診クーポンが実現!!

子宮頸がんは検診と予防ワクチンにより、ほぼ100%予防が可能な“がん”です。したがって、検診が不可欠ですが、日本の子宮頸がん検診の受診率は、わずか20%程度と極めて低い現状です。

公明党は検診の受診率アップのため、乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン券配布を強力に推進し、平成21年度補正予算で実現させました。

子宮頸がんは20歳から5歳おきに40歳まで、乳がんは40歳から5歳おきに60歳までの人が配布対象者です。

✿ 乳がん・子宮頸がんを減らすために

- ① 子宮頸がん予防ワクチン接種を普及させるため、公費助成の導入
 - ② 乳がん・子宮頸がん検診の受診率アップのため、無料クーポン制度を恒久化させること
- これら二つの施策実現をめざし、公明党神奈川県本部女性局は署名運動に取り組んでいます。

神奈川発!!
公明党の強力な推進

✎ 浜田まさよし参院議員、がん対策充実強化へ



がん対策についてのヒアリングを行う
浜田まさよし参院議員(2008年11月)

公明党は、がん対策基本法の成立を強力に推進してきました。さらに浜田まさよし参院議員は、最新のがんの治療法として期待されている免疫細胞療法にいち早く着目。この優れた医療技術が医療現場でスムーズに実用化されるよう各省庁に働きかけ、医療法のもとでの位置づけを明確にしました。また、高度医療評価制度の適用へ向けて、厚労省に申し入れを行うなど、がん患者の経済的負担の軽減に取り組んでいます。



参院予算委で代表質問をする
松あきら党副代表(2010年1月)

✎ 松あきら党副代表、今年1月20日参院代表質問にて 女性特有のがん対策の拡充・強化を訴える

松あきら党副代表は、乳がん・子宮頸がん検診「無料クーポン」の拡充について質問。22年度予算案では「女性特有のがん検診」の予算が半分以上も削られていることをただし、無料クーポンの5年間の事業継続を主張しました。

また、予防ワクチン接種費用についても、公費助成の実現を強く迫りました。これに対して鳩山首相は「積極的に検討してまいりたい。できる限り早期に実現できるように努力していく」と答弁しました。